



平成 26 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ ラ プ ロ ー プ
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 渡 辺 雄 一 郎
(コード番号：6627)東証マザーズ
問 合 せ 先 執 行 役 員 C F O 神 戸 一 仁
(TEL 045-476-5711)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成 26 年 7 月 29 日に公表した業績予想を以下のとおり修正するとともに、特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期 第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 10,400	百万円 350	百万円 330	百万円 50	円 5.39
今 回 修 正 予 想 (B)	10,662	540	563	△114	△12.33
増 減 額 (B - A)	262	190	233	△164	—
増 減 率 (%)	2.5	54.3	70.6	—	—
(参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	10,792	70	49	34	3.68

修正の理由

当第 2 四半期においては、メモリ事業、システム LSI 事業ともテスト受託が予想よりも好調に推移いたしました。この売上高の増加に加え費用の削減も進んだことから、営業利益、経常利益は平成 26 年 7 月 29 日に公表した業績予想を上回る見通しとなりました。なお当期純損益につきましては下記事由による特別損失の発生により、予想を下回る見通しとなりました。

2. 特別損失の内容

第 1 四半期決算短信に記載しておりました青梅事業所における構造改革の進展に伴い、事業構造改善費用等により特別損失 332 百万円を計上することとなりました。

3. 今後の見通し

第 3 四半期は、メモリ事業、システム LSI 事業とも弱含みで推移するものと予想しております。平成 27 年 3 月期第 3 四半期連結業績予想につきましては、平成 26 年 10 月 28 日に第 2 四半期決算短信において開示を予定しております。

(注) 本資料における上記の予想を含む記述は、発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。

以 上